報道関係者各位

2026 年 11 月 27 日
株式会社尾前の環

日本三大秘境・椎葉村の土地と暮らしにふれ 、自身に立ち返る

一棟貸しの宿「里山游巣」　本日より宿泊予約受付開始

～山の恵みや季節の営みに身を委ね、里山の空気に深く浸る 1 日 1 組限定の宿

宮崎県椎葉村　2027 年 1 月 8 日（金）より開業～

株式会社尾前の環（本社：宮崎県東臼杵郡椎葉村、代表取締役：尾前一日出、以下「尾前の環」）は、2027 年 1 月 8 日(金)より、椎葉村尾向地区に 1 日 1 組限定の一棟貸しの宿「里山游巣（さとやまゆうそう）」を開業します。また、開業に先立ち、本日 11 月 27 日（金）より宿泊予約受付を開始します。



「里山游巣」 外観

里山游巣　公式 Web サイト：https://www.chillnn.com/1a109be2488270



「里山游巣」 外観

■「里山游巣」が生まれた背景

九州山地のほぼ中央に位置する椎葉村は、1908 年に柳田國男が訪れたことから「民俗学発祥の地」として知られています。現在も焼畑や狩猟など、里山ならではの営みが受け継がれており、山とともに暮らしてきた人々は、自然と向き合いながら培ってきた知恵や技術を豊かに有しています。
一方で、生活様式の変化や高齢化などにより、このような知恵や技術を次世代へ継承していくことが難しくなっているという課題も抱えていました。
そのような中、このたび尾前の環は、里山を舞台とした体験の提供と、一棟貸しの宿泊施設を備える「里山游巣」を開業することとなりました。
「里山游巣」では、訪れる人々が里山で遊び、地域に受け継がれてきた先人の知恵に触れ、学ぶ機

会を提供します。自然の中で過ごし、地域の人々や暮らしに触れる体験を通じて、訪れる人と地域の双方に新たな気づきを生みながら、次世代へとつないでいくことを目指します。



猟師と歩く山さるき体験（イメージ）

■里山游巣について

里山游巣は、山の斜面に建つ、最大６名まで泊まれる一棟貸しの宿です。椎葉の風景や人々の暮らしに触れ、里山を知り、己に立ち返るための小さな巣とも言えるこの宿で、山とともに生きてきた人々の営みや、自然の中に息づく知恵に触れながら、日常から少し離れ、自分自身と向き合う時間を過ごすことができます。
いくつもの山を越えた先に広がる、椎葉の風景と人々の営み。ここで過ごす時間が、日常に戻ったときの景色を、少し違ったものにしてくれるかもしれません。
滞在中は、椎葉の山の幸をふんだんに使った夕食・朝食をご用意するほか、地域の方々とともに楽しむ季節ごとの体験プログラムも実施します。冬のメープル採取や春の山菜採り、夏の川釣りなど、季節の移ろいや地域の暮らしを体感できる体験を通じて、椎葉ならではの自然と人の営みに深く触れていただけます。

本日 11 月 27 日（金）より宿泊予約受付を開始

ご予約はこちらから　公式サイト：https://www.chillnn.com/ja/1a109be2488270

里山游巣

SATOYAMA STAY






「里山游巣」 館内とデッキ

【里山游巣　概要】

・開業日：2027 年 1 月 8 日（金）
・所在地：〒883-1603 宮崎県東臼杵郡椎葉村大字不土野 360-12
・施設構成：一棟貸し（1 日 1 組限定・最大 6 名）デッキ・ロフト付き
・宿泊料金（税込）　※1 泊 2 食付き（夕食・朝食）の場合
　1 名あたり 33,000 円～（2 名 1 室利用時。大人 2 名で 66,000 円）
　お子様：4～12 歳は大人料金から 1 名につき 11,000 円引き、13 歳以上は大人料金。
・チェックイン：15:00～16:00 ／ チェックアウト：10:00
・定休日：水曜日
・公式 Web サイト：https://www.chillnn.com/1a109be2488270
　※予約や詳細をご確認いただけます
・公式 Instagram：https://www.instagram.com/satoyama_yuso/

■建築について　～里山の立木に巣を作る～

宿の設計では、里山の木々の新たな活用の可能性を探ること、そして利用者が五感を研ぎ澄ませて里山の自然を感じられる環境をつくることを主題としました。
建物は山腹の斜面に張り出すように建っています。リビング棟、寝室棟、水廻り棟は高さを変えながら配置され、その周囲には広さや高さの異なる外部デッキが広がります。ときに森に浸るように没入し、ときに山で遊ぶように戯れる。環境の異なる空間を連続させることで、さまざまな楽しみ方を発見できるようにしています。
これらの空間を支える 12 本の巨大な柱は、この里山から切り出されたものです。林業を主産業としながらも製材業が衰退した椎葉村で、扱いにくいとされるスギの大径木を村内の技術で加工し、再び山に植え戻すかのように組み上げました。
実際に建物をつくり上げた大工たちも、地元の方々です。梁の継手には大工の手で刻んだ伝統構法の金輪継ぎを用い、500 枚を超える焼杉・焼桧の外壁も、加工から施工まで人の手で行いました。
こうしてできた宿は、あたかも里山の立木にできた巣のような佇まいを持っています。
設計は、エノハアーキテクツ一級建築士事務所の尾前大樹氏（代表／椎葉村在住）と西恭平氏（東京都在住）が手がけました。

■里山で游び、学ぶ 四季の体験

里山を知る近道は、そこで暮らす村人と一緒に手や体を動かすこと。椎葉の人々とともに、四季の里山で遊び、学ぶ体験をご用意しています。ぜひお楽しみください。

【通年】

・雑穀餅つき／手打ち蕎麦づくり／昔ながらのこんにゃく作り

地元のおばあちゃんに教わり、一緒につくり、できたてを味わえます。

【春】3 月～5 月頃

・山のごちそうを探す　山菜採り体験

旬の山菜を採り、その場で天ぷらなどにして味わいます。

・春限定　たけのこ掘りに挑戦

旬のたけのこを自分の手で掘り出します。

【夏】6 月～8 月頃

・竹竿でつくる　山の渓流釣り体験

竹竿をつくって渓流で釣り、釣った魚は宿で焼いて味わえます。

【秋】9 月～11 月頃

・山の宝物を探そう　栗拾い体験

栗を拾い、炭火で焼いた焼き栗をその場で味わえます。

・里山の恵みでつくる　季節のスワッグづくり

里山の草花や木の実で、スワッグ（壁飾り）をつくります。

【冬】12 月～2 月頃

・自然がくれた甘いごほうび　メープルシロップ体験

カエデの樹液を煮詰めて、天然のシロップに（お土産付き）。

・山の名人と行く森の探検　猟師と山さるき（山歩き）

猟師と、獣道や足跡を観察しながら山を歩きます。ほかにくず粉づくり、門松づくりも。

※料金・実施時期は公式サイト（https://www.chillnn.com/1a109be2488270）をご覧ください。
季節や天候により内容が変わる場合があります。



昔ながらのこんにゃく作り



旬の山菜取り体験

■山の恵みをいただく食事

椎葉では、山の恵みを「獲った」ではなく「授かった」と考え、それを「のさり」と呼びます。「のさり」とは、人ができる限りのことを尽くした先に、山の神や自然から授かる恵みのことです。
里山游巣のお食事は、そんな山の幸を、素材そのものの味が伝わるようシンプルにいただくスタイル。食材の背景もあわせてお伝えします。

・朝食：椎葉村民の朝ごはん（一汁一飯）

四季折々の山菜の汁物に、雑穀米、村内でつくられた漬物、山茶。椎葉の暮らしを感じる、素朴でやさしい朝ごはんを、お部屋にお持ちします。

・夕食（秋冬）：

椎茸などのだしに、旬の山の幸を合わせた鍋料理。ジビエが手に入った際には、あわせてお楽しみいただけます。リビングで鍋を囲み、塩や柚子胡椒などのシンプルな調味料でいただきます。



山菜鍋

・夕食（春夏／3 月以降）：

山の幸をデッキの七輪で直火焼きに。
季節やその日の恵みによってはジビエも味わえる、山あいならではの夕食です。
※川の幸・エノハ（ヤマメ）のコンフィなど、一品料理も順次ご用意する予定です。
また、宿に引き込んだ湧水に合わせて開発した、オリジナルのドリップコーヒーもお楽しみいただけます。



椎葉産木炭の炭火焼き

■試泊者のコメント

山道を抜けた先、斜面の木々の間に浮かぶように建つ宿は、まるで森の中の“巣”のようでした。
デッキに出ると、聞こえるのは風が木々を揺らす音だけ。日常から少しずつ離れていくのを感じました。
夜はあたたかいお鍋を囲み、食後は焚き火を楽しみましたが、ふと見上げると空いっぱいに星が広がっていて、思わず言葉を失いました。薪がはぜる音と、静かにまたたく星。ただそれだけの時間が、こんなにも満たされるものだとは知りませんでした。
そしてもう一つ、心が動いたのは地域の方々と過ごした時間です。雑穀餅つきでは、杵の振り方を教わりながら一緒に餅をつき、つきたてを頬張りました。手を動かしながら交わす何気ない会話や、椎葉での暮らしの話をお伺いしながら、初対面とは思えないあたたかさに、気づけば自分もこの村の一員になったような気持ちになっていました。
観光地を巡る旅とは違う、人と自然にじっくり向き合う滞在。「暮らすように泊まる」という言葉の意味を、身をもって感じた一泊でした。季節を変えて、また村の皆さんに会いに来たいと思います。



「里山游巣」 外観

■「株式会社尾前の環」会社概要

所在地：〒883-1603 宮崎県東臼杵郡椎葉村大字不土野 357 番地
代表者：代表取締役　尾前一日出
設立：2025 年 3 月
事業内容：宿泊施設・体験事業の運営

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社尾前の環　広報担当（さとゆめ 大戸）
TEL: 080-9153-8361　MAIL：oto@satoyume.com